

丹後ちりめんの技術を生かして開発した薄布による 「空気の流れ検知装置等」が特許を取得

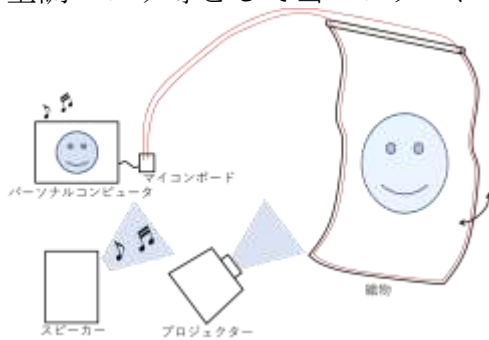
～織物・機械金属振興センターの発明により織物の新産業創出を目指す～

当センターでは丹後ちりめんの用途拡大を目的に、多岐にわたるテーマで織物素材及びその用途の開発をしています。

このたび、丹後ちりめんの技術を生かした薄布による空気の流れ検知装置及びこれを用いて演出効果を生み出す映像・音響システムの開発で、特許を取得しました。

今後、特許発明の実施者を開拓し、織物の新産業創出に取り組みますので、是非取材・周知ください。

- 1 発明の名称 空気の流れ検知装置ならびにそれを用いた映像・音響システム
(特許第7359351号)
- 2 発明者 技術支援課 徳本主任研究員
- 3 特許の登録日 令和5年10月2日
- 4 発明の経過、概要
 - (1) 当センターが開発した薄布「空気に漂うジョーゼット」が、ジャパン・テキスタイル・コンテスト2020で優秀賞を受賞。
 - (2) 本素材が微風でも揺れ動く特徴を活用し、風力・風速計で計測できないほど小さい空気の流れも電氣的に検知する装置を発明した。
 - (3) この電気信号を二次利用し、本素材が揺れ動くときインタラクティブに、映像、音響、照明等の演出効果を生み出すシステムとした。例えば本素材が揺れ動くことで変化する映像を素材自体に投影すると、素材の動きと映像の変化がシンクロナイズした視覚効果が得られる。
 - (4) 現在までに展示会ブース、店舗、アートイベント等の空間演出や、実験設備の空調センサ等として当センターにニーズが寄せられている。



発明の模式図



揺れ動きに応じて映像が変化する様子及び動画のQRコード



5 今後の展開予定

令和6年2月6日～8日に東京ビッグサイトで開催されるギフト・ショー(SOZAI展)に出展し、特許発明を活用される事業者を開拓する。

【本報道発表に関するお問合せ】

織物・機械金属振興センター 技術支援課 徳本主任研究員
電話 0772-62-7402 E-mail y-tokumoto20@pref.kyoto.lg.jp

